

民進党・市民連合

代表 西野 茂樹 ・ 副代表 小山 征三
幹事長 松尾 省勝 ・ 副幹事長 岩田 薫

一般質問(西野茂樹議員)

- 1 駒澤大学について
- 2 IR(統合型リゾート)誘致について
- 3 市立病院
(1) 医師確保について



西野 茂樹 議員

★駒澤大学の「認可保留」を質疑

予定をしていた8月での「経営移管」の認可が保留となっている事態について、その理由と今後の見通しなど14項目の課題や問題点について市の見解を求めました。

市側は、学生募集の開始時期を考へれば認可は10月、遅くとも年内の期待を示しました。

また、今後は、議会にしっかりとした説明と情報提供を行うことを約束しました。

★IR誘致を質疑

国が示したギャンブル依存症について市の評価など見解を求めました。また、市の対策の是非についても姿勢をたえました。

市側は、課題を整理し検討をしたいむねを示しました。

一般質問(小山征三議員)

- 1 政治姿勢
(1) 核兵器禁止条約について
(2) 市長公約について
(3) 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業について
- 2 災害・事故発生時の官民連携について
- 3 避難行動要支援者
避難支援計画と個人情報保護について
- 4 公共施設におけるLPガスの採用について



小山 征三 議員

<http://www.tomakomai.or.jp/koyama/>

一般会計決算審査特別委員会

★民間業者より低い委託料

広報とまこまいの配布業務について、市は民間委託で経費を安くできると試算していましたが、現実には町内会に年間1世帯136円、民間業者には259円で委託している現状を指摘しました。

25年度から、委託先を選べるようにした結果、町内会による配布は年々減少し、29年度には86町内会のうち46町内会(53%)が民間委託しています。3年前と比較すると、年間200万円のコスト増となっています。

市側は、地域コミュニティーの活性化も重視しており、今後、町内会や業者の話を聞いた上、委託料を改めて検証するつもりです。

松尾省勝議員の質疑

企業会計決算審査特別委員会

★介護保険事業特別会計質疑

地域包括ケアシステムの構築を目指し、新たな事業が検討され、包括ケア担当が配置をされました。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療介護連携事業や生活支援体制整備事業を展開する市側に対して、現状課題を確認し対応を求めました。

市側は、在宅医療と介護を一体的に提供するために医療機関と介護事業所などの関係者の連携を目的とした上で、連携の不十分さや推進するための資源不足との認識を示しました。また、事業を展開するための組織体制の強化や包括ケアシステムの構築については、どのような体制が効果的か今後部局間協議をすると答弁がありました。



松尾省勝

岩田薫議員の質疑

企業会計決算審査特別委員会

★後期高齢者医療特別会計では、28

年度新たに行った歯科健康診査は、1,436人が受診され、受診率は、7.76%にとどまりましたが、全道的な受診率では、2.32%と苦小牧市がトップであることが報告されました。検診内容や、効果をさらにPRする取り組みを求めました。

★水道事業会計では、給水人口や給水量が過去5年間をみると減少傾向にあることや、27年度の業務用水道料金体系の見直しにより約2千万円の収入減となることが明らかになりました。また、29年度終了する水道ビジョンでは、概ね予定通りの事業展開ができたことから、次期策定時には、これまで多くの先輩達が培ってきた技術の継承を重点化していくことを求めました。

